

# 県政レポート No.22 ※6月以降に所得税と住民税の定額減税!

山形県議会議員 高橋 淳 (鶴岡市選挙区)



【令和6年度所属委員等】

議会運営委員会(副委員長)※会派協議会含む/農林水産常任委員会(委員)/予算特別委員会(委員) 他

【高橋淳事務所】 <2024.3.22 高橋淳事務所発行>

〒999-7601 鶴岡市藤島字古橋跡 100-1 TEL:(0235)26-8731/FAX:(0235)26-8732

E-mail: [takahashi.jun.kouenkai@gmail.com](mailto:takahashi.jun.kouenkai@gmail.com)/→日頃の活動等はQRコードを参照ください(Facebook 及びホームページ)



※令和6年能登半島地震により、お亡くなりになられた方々とその御遺族に対し、深く哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。一刻も早く心安らぐ時間を取り戻されることを祈念いたしております。

## 山形県議会2月定例会が閉会!

県議会2月定例会(現年度)は、政府の補正予算の精査等を踏まえ、「小中学校等における1人1台端末の更新(国庫補助金)」を基金に積み立てるほか、「介護職員及び障がい福祉職員の処遇改善にかかる経費への支援」などです。



また、定例会(新年度)では、知事への政策提言の手交、「防災行政通信ネットワーク(高館山中継局)」の繰越明許費の設定などや「地域公共交通の維持・拡充のための財政支援の拡充を求める意見書(総務委員会発議)」などを可決しました。

## 山形県の新年度予算6,497億円!!

山形県の新年度予算は、「人に寄りそい未来を見すえた県づくり予算」とし、人手不足対策など経済の回復・活性化や産業の持続的発展、防災に重点を置き、一般会計当初予算総額で 6,497億8,345万円 (経済対策459億円!)です。



主な概要としては、「育休代替保育士の配置支援等による保育人材確保の推進(全国初)」、不妊検査・不妊治療に対する助成(両方への支援は東北初)など、時代の変化や課題に対応し、外国人材の受入れ拡大や地震・津波などの命を守る対策などが盛り込まれております。



なお、吉村県政では、過去10年間で4番目に大きな予算規模となっています。

## 県産果樹情報発信拠点! 否決!

「フルーツ・ステーション」費削除! 修正案可決!

県産果樹情報発信拠点「フルーツ・ステーション」の事業費を計上した2024年度一般会計当初予算案が、農林水産常任委員会で否決(賛成少数)されたことを受け、15日に行われた本会議で同予算案を撤回し、県産果物の情報発信拠点「フルーツ・ステーション」の関連事業費(4,854万円)を全額削除した予算案を改めて提案し可決されました。

一昨年の2022年度予算案については、施設整備を巡って自民側が反発。県が予算案を撤回し、関連事業費を削除して成立した経過がある。

常任委員会での予算案否決は、昭和22年の地方自治施行後、山形県議会です。

県では、果樹生産振興や県産果実のブランド力強化などを目的に、民間活力を導入して「最上川ふるさと総合公園」に「フルーツ・ステーション」を整備する方針であり、県内各地の拠点整備を促し、ネットワーク形成を目指す方向であった。

当初、本会議で自民の修正案が可決されれば、吉村知事は、審議のやり直しを求める「再議(議長を含む出席議員の2/3以上)」に付す構えであったが、二代表制である議会の重みを考え、県民生活に影響・回避を及ぼすことなどを考慮し、3月14日に修正案が議会に提出されました。

今まで執行部側からも丁寧な説明をいただき、常任委員会でも議論を行った経過があり、今後の県政運営、政局などへ課題を残す形となった。

## 県民の声が新年度予算に計上!

新年度予算については、今まで一般質問や予算特別委員会等で質問・提言を行った「庄内空港ビル

おいしい  
★★★  
庄内空港

の国際線と国内線の動線分離等のための機能強化」や「外国人材定着推進」など、そして、昨年に鶴岡市民の方々と要望書を県と市側に手交した「医療的ケア児とその家族への支援体制の充実」などが予算として盛り込まれました。今後の事業スキームや進捗状況等を注視してまいります。



## 令和 5 年度 「学校基本統計調査」

県内の小学校の学校数は 223 校で、前年度より 7 校減少(新設 1 校、廃止 8 校)しています。

中学校は 94 校、義務教育学校 3 校、高等学校 60 校で、前年度と同数です。幼稚園は 55 園で、前年度より 4 園減少です。



小学校の在学者数においては、令和 5 年度 46,887 人(前年増減△1,374 人)であり、昭和 59 年以降 40 年連続減少しています。

※学校基本調査とは、文部科学省が全国すべての学校を対象に昭和 23 年から毎年実施している統計法に基づく基幹統計調査です。

## 慶應先端研の最終年次の研究成果!!

慶應義塾大学先端生命科学研究所の第 5 期協定期間(H31~R5)を迎え、高い水準の研究活動、産学官連携などが高く評価できるとし、研究成果等が示されました。総合評価は「A」です。

これまで山形県と鶴岡市による 20 年間にわたる大規模な手厚い支援がされており、課題として、助成事業がなくなった後も、企業等が自ら共同研究を持ち込むような評判・信頼関係の構築、成功事例、他学部との連携促進によって相乗効果を発揮させることが、今後の「重要な視点」です。

## 温海地域 菅野代河川の浚渫工事!

温海地域からご要望等を頂いた、菅野代集落の河川浚渫工事については、今年度に予算が計上され、春先に工事が行われる予定です。



※写真は 1 月 30 日の現地調査

## 県道路中期計画 2028 改訂版

庄内地域の今後 5 年間のみちづくりの方向性(改訂版)が示されました。山形県のみちづくりを取り巻く現状・社会的背景には、少子高齢化を伴う人口減少が加速、道路施設の老朽化が進行するなど、そして、社会保障関係費の増によって、「インフラ投資の圧縮」が続いています。

山形県の道路関係予算は平成 10 年度(801 億円)をピークに約 7 割の減少です。

▶尚、2028 年度までの計画期間の後半に調査・事業着手される主なものは、日本海沿岸東北自動車道(朝日温海道路)、国道 345 号(鼠ヶ関)、国道 112 号(金沢陸橋)、直轄事業で国道 112 号(東原町地区事故対策)、県事業で※面野山鶴岡線の鶴岡市豊田(幅広路肩)、鶴岡市村上線(美原町)の交差点改良等、国道 345 号鶴岡市(一本木、平沢)、菅野代堅苔沢線(鶴岡市山五十川) 道形黄金線(八文字屋付近)などです。

※写真は、令和 2 年 7 月 21 日に加賀山茂(元鶴岡市議)と、面野山鶴岡線(鶴岡市豊田)の現地調査及び県への要請活動を実施。



## 県議会レポートあとがき

新年度は「農林水産常任委員会」です。本県農業が直面する課題が山積しておりますが、引き続き、県民・市民の多くの声をお聞きし、「県政の発展」と「県民の命と暮らしを守るため」、現場主義、県民視点を重視した政治活動を行って参ります。

コロナ過がもたらした時代の転換局面を皆様とともに成長躍進と大発展の年にいたしましょう。